

<事例紹介> 80代男性 慢性心不全 在宅で妻の介護をしていた

敗血症による多臓器不全で入院 ADL低下し施設入所となる

<目標> ①施設内でトイレ移動が安全に行える ②妻に会いに自宅外出ができる

<経過>

初回訪問リハで下肢浮腫の増悪あり→医師に連絡

循環器内科にかかり心不全加療目的に入院となった

入院中は訪問リハ担当者が担当し、自宅環境についての情報収集を実施

退院後



- ・「嫁さんが心配 会いに行きたい」
- ・ジュースの購入が日々の楽しみとなっている
- ・日中はほとんど起きて過ごし、自主訓練を過剰に行う



担当療法士
アプローチ

<環境設定、生活支援>

- ・**歩行**導線の整備、補助具の選定、歩行練習
- ・**浮腫**医師、施設職員と相談し、ジュース購入分を含め、水分提供量を決める
- ・**家族支援**電話にて現状報告、移動の介助方法伝達（屋外移動は杖+腋窩介助、屋内伝い歩き）

<自主訓練指導>

- ・過負荷とならない様に量や難易度を調整（立位ではなく座位で行う）

退院後半年

息子の支援の元、自宅外出が可能となる
「妻の顔が見れて嬉しかった」



<現在の様子>

入院から退院まで継続して支援することにより、自宅や施設の環境評価、家族との連携等をこまめに行うことができました。それにより妻に会いに行きたいというご本人の希望を叶える支援をすることができたと考えます。今後は外泊なども見据えて支援したいと思います。

<小松ソフィア病院 訪問リハ 受け入れ状況>

	月	火	水	木	金
午前	△	◎	×	○	◎
午後	△	△	◎	◎	△

◎：十分に空きあり ○：空きあり △：空き少なめ ×：空きなし

※STは応相談

<問い合わせ先>

小松ソフィア病院 〒923-0861 石川県小松市沖町 478 番地

TEL：0761-22-0751 FAX：0761-22-0725 担当窓口：作業療法士 大村 衡史